

会社名 株式会社 INPEX  
代表者名 代表取締役社長 上田 隆之  
(コード番号 1605 プライム市場)  
問合せ先 広報・IR エンティティ・エネルギー・マネージャー 細野 宗宏  
電話番号 03-5572-0233

## インドネシア共和国ムアララボ地熱発電事業の追加の取得について

株式会社 INPEX（以下、当社）は、地熱事業を目的とする子会社として設立した株式会社 INPEX 地熱開発（以下、INPEX 地熱開発）を通じ、インドネシア共和国（以下、同国）におけるムアララボ地熱発電事業（以下、本事業）に参画しておりますが、今般、同国における地熱事業の推進を加速化させるため、本事業の地熱鉱区・地熱事業免許の保有者である PT Supreme Energy Muara Laboh（以下、SEML 社）の発行済株式の 20%を ENGIE Global Development B.V.（欧州大手総合エネルギー企業である ENGIE S.A.の関係会社（以下、EGDBV 社））から取得する契約を EGDBV 社と締結いたしましたので、お知らせいたします。当社は、INPEX 地熱開発を通じ、2021 年 12 月に SEML 社の 30%の株式を保有する PT Supreme Energy Sumatera の 33.333%の株式を取得して本事業へ参画しておりますので、これにより当社の参画比率は現行の 10%から 30%に増加することとなります。

※ 2021 年 12 月 16 日公開 [インドネシア共和国ムアララボ地熱発電事業への参入について](https://www.inpex.co.jp/ir/20211216/indonesia_muara_laboh_geothermal_power_generation_business_entry)  
([inpex.co.jp](https://www.inpex.co.jp))

本事業は、現在、同国西スマトラ州南ソロク県に位置するムアララボ地熱鉱区において、ENGIE S.A.、住友商事株式会社、当社及びインドネシアの民間地熱発電事業デベロッパーである PT. Supreme Energy が共同で実施しているものです。

本事業で操業するムアララボ地熱発電所は、現在、定格出力約 85MW（メガワット）で商業運転中であり、同国スマトラ島の約 42 万世帯の年間使用電力量に相当する電力を賄っています。本事業は、2019 年 12 月の商業運転開始から 30 年間にわたって、インドネシア国営電力会社（PT PLN（Persero））に地熱で発電した電力を販売する計画です。また、当社は、SEML 社並びに本事業の共同事業者である住友商事株式会社及び PT Supreme Energy とともに、ムアララボ地熱発電所の拡張に向け、地熱資源量等の評価作業に着手しております。

当社は、本年 2 月 9 日に発表した「長期戦略と中期経営計画 INPEX Vision@2022」において、ネットゼロ 5 分野の取り組みの一つとして「再生可能エネルギーの強化と重点化」を掲げ、石油・天然ガス開発で培った技術を活用できる地熱発電事業に対する取組みを加速することとしております。今後もエネルギー開発・安定供給の責任を果たしつつ、2050 年ネットゼロカーボン社会の実現に貢献すべく、エネルギー構造の変革に積極的に取り組んでまいります。

なお、本件による当社連結業績への影響は軽微です。

## 【ムアララボ地熱発電事業の概要】

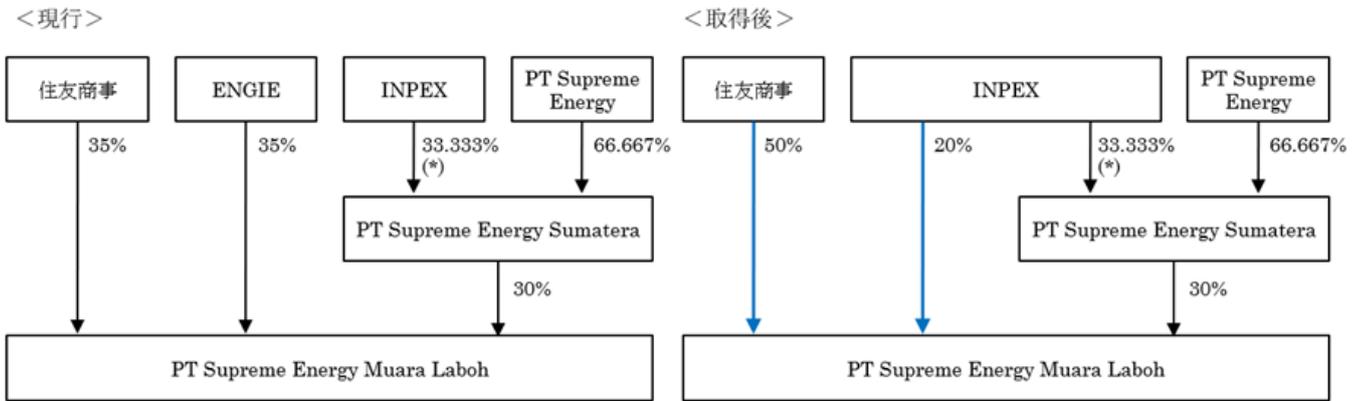
所在地	インドネシア共和国 西スマトラ州南ソロク県
定格出力	約 85MW (メガワット)
商業運転開始	2019年12月
本事業への当社出資形態	当社は、INPEX 地熱開発を通じ、以下の株式を保有。 ① SEML 社の 30%の株式を保有する PT Supreme Energy Sumatera の 33.333%の株式 ② SEML 社の 20%の株式 上記①及び②を合算した本事業への参加比率は 30%
電力販売先	PT PLN (Persero)
電力販売期間	商業運転開始 (2019年12月) 後 30年間

## 【位置図】



# INPEX

## 【株主構成】



(\*) 株式会社INPEX地熱開発を通じて保有

## 【ムアララボ地熱発電所写真】



## 【参考】 INPEX 地熱開発の概要

名称	株式会社 INPEX 地熱開発
主な事業内容	蒸気・熱水等の地熱エネルギー資源の探査、開発、生産、発電 並びに電気・熱の供給、販売及びこれら事業用設備の操業並びに保守点検等

以上